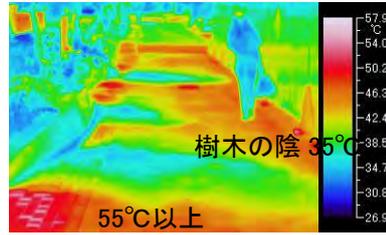


□ 「風の道」モデル事業の効果

① 緑化の推進

熱画像カメラで撮影したところ、直射日光の当たる舗装面は55℃以上、樹木の木陰では35℃であり、約20℃の差が見られました。



「風の道」モデル事業（イメージ）



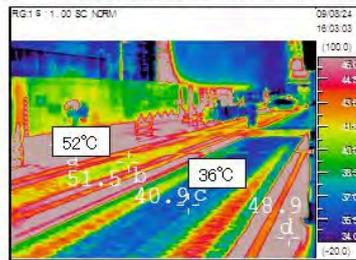
② 道路への散水

散水エリアにおいて、散水して10分経過した段階で、散水を行っていない歩道は52℃、散水を行った中央車線は36℃になり、路面温度が約16℃低下しました。

■ 散水車による打ち水の様子



■ 打ち水後の熱画像（平成21年8月24日16時）



② 遮熱性舗装の実施

熱画像カメラで測定した結果、アスファルト舗装は48℃、遮熱性舗装は40℃であり、約8℃の差が見られました。

■ 遮熱性舗装 熱画像

平成21年9月17日午前10時撮影（最高気温29.5℃ 天候：晴）

